

## 連載

# みんなで知ろう！

## 『鳴門市自治基本条例』

協働の事例⑩

### 「鳴門の第九」に平和と友好の願いを込めて

ベートーヴェン「第九」交響曲演奏会開催事業

1918(大正7)年6月1日、板東俘虜収容所でドイツ兵捕虜によって、ベートーヴェンの「第九」交響曲がアジアで初めて全曲演奏されました。

鳴門市が友好と平和の象徴である「第九のふるさと」であることを後世に伝えていくことは、市と地域の共通課題です。

市では、1982年(昭和57年)から毎年「第九」演奏会を開催しており、本年6月2日の開催で32回目となります。現在は、市民合唱団として出演している『NPO法人鳴門「第九」を歌う会』に委託し、市と協働による開催を行っています。同会の持つ専門性を生かしながら、準備から運営まで共に企画し、多くのボランティアの協力を得て実施する手作りのイベントです。

ソリスト(独唱者)の全国公募など、さまざまな工夫を凝らし、回を重ねるごとに、全国各地から、さらに海外からも合唱団が集まっています。その迫力ある演奏と歌声で、毎年会場は大きな感動に



市では自治基本条例に基づき、市民が主役のまちづくりの実現に向け、市民の皆さんとの協働のまちづくりを推進しています。今回は協働の取り組みを一部ご紹介いたします。



含まれています。

板東俘虜収容所から始まった友好の歴史を「第九」の調べに乗せて歌い続け、未来の歌い手となる子どもたちへ

市民の皆さんの思いとともに、「鳴門の第九」は後世まで受け継がれていきます。



### みんなで「鳴門の第九」のブランド力を高めよう

5年後の2018年、「第九」アジア初演から100周年を迎えます。市では、「鳴門「第九」を歌う会」をはじめ、多くの市民の皆さんとともに「第九」アジア初演の地を鳴門の魅力として全国、そして海外に発信していきます。

「誰もが住みたい、訪れたいと思える鳴門づくり」を一緒に進めていきましょう。

## コミュニティ研修会

### 教育大学があるまち「なると」で地域の絆を考えよう!



鳴門市自治振興連合会では、今年もコミュニティ研修会を開催します。鳴門教育大学というオンリーワンの地域資源を生かした講演会です。

先行き不透明な時代、学校と地域の連携はますます大切になっています。学校と地域が共に考え、取り組むことにより、鳴門の未来につながるヒントも見えてくるはず。どなたでも参加できます。共に学びましょう。



- 【とき】6月20日(木) 午後2時30分から4時まで
  - 【ところ】市役所共済会館 3階 大会議室
  - 【演題】『地域の絆を考える ～学校と地域の連携の在り方～』
  - 【講師】鳴門教育大学大学院教授 阪根 健二氏
- ※申込不要、受講無料、手話通訳あり

## WeLoveなると まちづくり活動応援掲示板を設置



鳴門のまちをより良くしようと、環境・福祉・安全など、さまざまな分野で活動する団体の情報発信をサポートするため、市役所本庁舎2階に情報掲示板を設置しました。

会員の募集やイベントの参加者募集チラシを掲示するなど、団体のPRにご活用ください。

※掲示を希望する方は、市民協働推進課にご相談ください。

【問】市役所市民協働推進課  
☎ 684・1200 FAX 684・1336  
E-mail shiminkyodo@city.naruto.lg.jp

自治基本条例とは、市民が主役のまちづくりを実現するために、市民や行政、議会の役割など、まちづくりのルールを定めた条例です。(平成23年11月1日施行)

